

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	－	－
(北陸)	○	コンビニ（店舗管理）	・ワクチンや東京オリンピック等で、現時点よりは閉塞感が和らぐ方向にあるはずである。
	○	家電量販店（店長）	・家で過ごす時間が多いため、エアコンや空気清浄機の販売に期待したい。
	○	乗用車販売店（役員）	・ワクチン接種が始まり新型コロナウイルス感染者数も減少に転じていくとみられ、経済活動が徐々に上向きになっていくと考える。
	○	自動車備品販売店（役員）	・コロナ禍の自粛ムードはまだまだ続くと考えますが、この環境に慣れ始めてこの生活環境が当たり前になってきている。環境に順応した生活様式のなかで、需要が上がってくると期待する。
	○	一般レストラン（統括）	・現状では新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるべく、自粛などの対策を講じており、6月頃には一旦収束して消費者が動き始め、景気も緩やかに上向きに変わるとみている。
	○	旅行代理店（従業員）	・ワクチンの接種が進めば良くなるかと考える。
	○	競輪場（職員）	・地元での競輪開催が始まるため、客足は伸びると予想している。また、Web投票が前年に引き続き好調であれば、売上もそれなりに期待できる。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては無観客開催若しくは、開催中止等もあり得るため不安は残る。
	□	商店街（代表者）	・ゴールデンウィーク中の新型コロナウイルスの影響次第である。
	□	一般小売店〔精肉〕（店長）	・高いものの動きが良くなく、ふだん使いのものはそこそこ売れている。先行きは新型コロナウイルス次第だが、ゴルフコンペの景品用等に期待している。
	□	スーパー（統括）	・新型コロナウイルスの感染拡大による今後の影響が不透明である。
	□	コンビニ（店長）	・良くなる要素が見つからない。当地でも新型コロナウイルスの感染が拡大しているなかで、平日は仕事でやむを得ず外出し、土日、祝日など休日は自宅に籠り、外出を控える人が多い。週末の売上だけで見ると、前年比で3割弱落ち込んでいる。平日のみで考えると前年近くまで回復してきているが、昼食の弁当などを簡易なもので済ませる傾向があり、客単価は低い状態である。
	□	コンビニ（営業）	・新型コロナウイルスの影響は継続する可能性が高いとみている。
	□	乗用車販売店（経営者）	・行政やメーカーからイベント等の自粛などを言い渡されるなか、営業活動も控えめになりがちなので、状況は変わらずに進むと考える。
	□	住関連専門店（役員）	・これから夏に向かい、東京オリンピック開催などの与件に左右される要因の良しあしは、依然として不透明な部分が多い。ネット販売の好調な推移を見ると良くなる可能性はあるかもしれないが、大きな期待はしていない。
	□	その他専門店〔酒〕（経営者）	・本来ならば、2021年の東京オリンピックが近づいており、2～3か月先は開催ということで景気はどんどん上がっているはずなのだが、周知のとおり新型コロナウイルス感染症の影響で、加速するように悪くなっている。これからどん底に落ちるのではないかというくらい景気が悪くなるのではと恐れている。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・感染防止策に有効な手法が出てこない限りは、現状の来店動向が続くものと予測している。客の行動変容から生まれた新しいニーズに対応できる売場展開を提供できるように努める。
□	高級レストラン（スタッフ）	・接客を伴わない飲食店からクラスターは出ていないが、29日から飲食店に対して営業時間の短縮要請が出されている。国や県が新型コロナウイルスの感染拡大に対して何かしているとアピールする対象に飲食店がなっている限り、回復は望めない。	
□	一般レストラン（店長）	・営業時間の短縮要請が終わっても、夜の来客数の回復は余り期待できない。いつまで影響が残るのか想像できない。	
□	スナック（経営者）	・先行きは新型コロナウイルス次第だが、予期せぬマイナス材料が出てくると見当が付かない。	

□	観光型旅館（経営者）	・ワクチン接種が進むまでは現在の状況が続くと考える。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチンを、全員が接種しない限り安心して外出しないとみられることから、当分は良くならないと考えている。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染者数が減少するまで、この状態が続くと考える。
□	通信会社（営業担当）	・格安料金プラン開始の余波を受けているものの、大きく変化する要素が見当たらない。
□	通信会社（店舗統括）	・今のところ上がる要素が見当たらない。
□	通信会社（役員）	・新メニューの効果がある程度落ち着いてくることが予想されるが、前年同期比では同様の契約者数で推移するものと見込んでいる。
□	美容室（経営者）	・県内でも小学校を始めとした学校内での感染者数が増えてきており、今後は家庭内感染者数の増加が予想され、消費マインドは冷え込んでくる。
□	住宅販売会社（従業員）	・受注高も例年と変わらず、若干良いくらいの状況であり、恵まれた業界であると感じている。客との打合せの積み重ねが重要で、その数も常に一定数あり、現在の状況であれば契約件数は減らなないとみている。
□	住宅販売会社（従業員）	・人の動きが活発になるのは秋以降になるとみている。それまではしっかり原点に戻り、頑張るしかないと考える。
□	住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛かる見通しが立たない限り、景気が良くなるとは考えられない。
▲	商店街（代表者）	・県独自の緊急事態宣言の発出で、外出を控える傾向は続きそうである。やや持ち直してきた感じのする衣料品は、これで合い物を飛び越して一気に夏物になりそうで、売上の減少は避けられないとみている。
▲	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により行動が制限されるなかで、売上に直結する営業訪問及び店頭での集客が見込めない。
▲	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・今のところ現在より良くなる要素が余りない。今後もコロナ禍の厳しい状況は続きそうである。
▲	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス変異株による新規感染者数が増え続けているため、県はまん延防止等重点措置を要請する可能性が高い。発出されることになれば、お中元やクリスマス商戦に与える影響は計りしれない。
▲	百貨店（販売促進担当）	・先行きが見通せない以上、回復とはならないとみている。今まで比較的影響が少なかった商品への影響も出ると予想せざるを得ない。
▲	百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルスで出張や旅行などが制限されるため、それに伴う関連商品を多く扱う部門の苦戦が継続するとみている。低価格志向に加え、必需品だけを求めて来店することが多く、短時間のショッピングが増えている。買い回りによるついで買いが減少し、客単価が減少傾向にある。しかし、スポーツやアウトドア関連など屋外がキーワードのアイテムは比較的好調で、今後も若干ながらも期待できる。
▲	スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルス感染者も増えて対策が進むなか、帰省や催事の中止が大きく販売量に影響するとみている。
▲	スーパー（店舗管理）	・コロナ禍により家庭内所得が減少している影響が出ている。食費についても抑制傾向にあると考える。ワクチン接種待ちの状況である。
▲	コンビニ（経営者）	・季節商材の販売動向からやや悪くなる。
▲	衣料品専門店（経営者）	・早い時期に新型コロナウイルスの感染が収束するとは考えられない。
▲	衣料品専門店（経営者）	・今後については全く予想できないが、更に悪化していくことが十分に想定される。
▲	家電量販店（本部）	・新たな緊急事態宣言の発出や変異株の勢い、前年の暑さとの比較などから、今年は厳しくなるとみている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・当地域の新型コロナウイルス感染者数も徐々に増えてきており、先行きが不安である。
▲	通信会社（営業担当）	・最近では割引によって販売が増加してきているので、割引終了に伴い販売数も減るとみている。
▲	パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルス第4波の影響が出てくるとみている。

	▲	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・人が一番動き出しそうな時期に県から新型コロナウイルスの感染拡大警報が出て、再び自粛傾向が強くなってきている。ワクチンも高齢者が5月17日から、一般の人は秋頃にやっと接種となりそうで、今年の夏場は期待できない。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・飲食店への時短要請があり、今の状況ではますます外出自粛の動きになるとみている。
	×	商店街（代表者）	・年間で一番売上的あるゴールデンウィークが今年も期待外れに終わるため、休業補償がない今年は、経営自体も更に不安である。その反面、少しずつではあるが高額品の売行きは戻りつつあるので喜ばしい。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・政府の新型コロナウイルス対策に一貫性がみえない。やることなすこと中途半端で、真剣に対応する気がないのではないかとみえてしまう。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・関西や首都圏でのまん延防止等重点措置、緊急事態宣言の発出で新規予約よりキャンセルの方が多くなっている。近隣県の個人客や修学旅行の対応はしているが、厳しい状況は続くと考え。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が発出され、該当する地域だけでなく身の回りにも影響が甚大であり、更に悪化するとみている。負担になるのはまず賃借料で、周辺ビルの解約が目につくが、解約できない業種は大変厳しい。
	×	通信会社（職員）	・緊急事態宣言下によるということに尽きる。
	×	テーマパーク（役員）	・依然として感染の拡大傾向が続いており、ワクチンの接種もまだ時間が掛かるとみられ、3か月先の状況も現状より更に厳しくなると考える。
企業 動向 関連	◎	*	*
(北陸)	○	一般機械器具製造業（総務担当）	・緩やかではあるが、受注量は回復傾向にある。
	○	一般機械器具製造業（経理担当）	・海外向けの輸出品を中心に受注が好調に推移し、国内自動車メーカーも順調な受注状況で推移している。輸出に関しては、船便の手配がタイトになっており、出荷が遅れ気味になっている。
	○	建設業（経営者）	・前年は新型コロナウイルスにどう対応したらよいか分からず右往左往していたが、1年を経過して、正しく恐れることを意識しながらの経済活動が戻りつつある。
	○	通信業（営業）	・新型コロナウイルスによる影響が現状レベルで推移すれば、新年度に入り補助金施策も具体化されてきたので、今後の景気は上向き傾向になるとみている。
	○	税理士（所長）	・経済産業省が出している事業再構築補助金が大分浸透してきている。設備投資意欲が非常に旺盛な中小企業で抑えられていたものがある形で段々と上がってきており、設備関連の投資がこれから更に増えるのではないかとみている。また、その関連で工作機械メーカーの受注も非常に好調である。建設業も非常に良い。飲食業は新型コロナウイルスの感染が収まれば必ず良くなるという確信もあるので、現状はともかくとして、将来の見通しは上がり調子になるのではないかと期待が持てる。
	□	食料品製造業（経営企画）	・コロナ禍のもと、この先も数か月サイクルで上がったたり下がったりが繰り返されるだろうと考える。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	・都会を中心に再度緊急事態宣言が発出され、県内でも特別警報が継続するなど、新型コロナウイルスの感染拡大が収まる気配はなく、本格的な回復にはまだ時間を要すると考える。
	□	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の注文の入り具合から景気は変わらない。
	□	輸送業（役員）	・新型コロナウイルスの影響がある。
	□	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大しており、緊急事態宣言が発出されている。経済活動に制限が掛かり、観光や飲食及びその関連産業の業績は悪化する見通しである。事業再構築補助金を活用した新事業への進出と、これに伴う設備投資の動きもみられるが、その効果が現れるまで時間を要する。
	□	不動産業（経営者）	・少し期待していたが、特別動きが多いということはない。法人の問合せが少しずつ出てくるようになったので、そういった面で期待している。

	□	司法書士	・会社の設立や役員を増員する会社がある一方、事業縮小や事業承継予定者だった役員が辞任する会社もある。
	▲	精密機械器具製造業（役員）	・ここに来て、再び大きく増加傾向にある新型コロナウイルス感染者数の状況や、再発出された緊急事態宣言等の影響により、今後しばらくは今より厳しい状況に向かうと考える。
	▲	建設業（役員）	・一部材料単価の上昇基調もみられ、先行きにおいては、現状よりも利益確保が厳しくなるのではないかと考えている。
	▲	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの第4波の影響はこれまで以上に大きいと感じる。
	×	金融業（融資担当）	・春先からゴールデンウィークに掛けて需要を見込んでいた観光業者は、今回の緊急事態宣言で更に打撃を受けることになる。ワクチンの普及が間に合わない状況で、東京オリンピックを見据えてまん延防止等重点措置が大きくとられると、経済全体の需要は少なくなる。また、対応できる支援策も乏しく、倒産や休業が増えるか、事業規模縮小の選択が迫られるとみている。
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—
(北陸)	□	人材派遣会社（役員）	・依然として派遣登録者数が増えず、僅かな案件にマッチングできない。
	□	人材派遣会社（社員）	・年度替わりの影響で一時的な求人増加はあるものの、まだまだコロナ禍のため新たな求人、求職に変化はないと考える。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの影響があり、介護施設を中心に新規雇用が伸びない。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かず、感染拡大の動きがある限り、上向きにならないのではないかと考える。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県内でも新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、先行きが見通せない。ワクチン接種が進むまではこの状況が続くと考える。
	□	職業安定所（職員）	・東京オリンピックやワクチン接種の進み具合など、3か月先がどうなっているか考えられない。東京オリンピックはともかく、ワクチン接種の進み具合が景気を左右するとみている。取りあえず、12月末ごろが1つの目安になると考えるので、3か月先はまだまだとしかいえない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・以前のようにセール行事等も少なく停滞している。来客数に制限があって、本来の景気に戻っていないようにみえる。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素は見受けられない。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあり、第1～3波のときと同様に、雇用維持ができそうかどうかで、求人の提出を控える事業所が多くなると見込んでいる。
		×	—